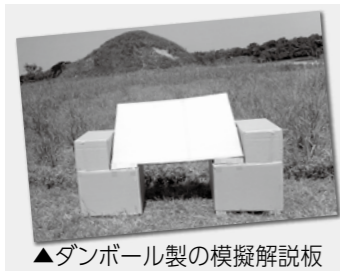


未来の世界遺産が見えてくる!? 発掘の現場

平成29年の夏に世界文化遺産登録を目指している新原・奴山古墳群を含む『神宿る島』宗像・沖ノ島の関連遺産群も、発掘から物語が始まりました。はてさて今月は、どのような物語が発掘現場から見えてくるのでしょうか。

古墳群での、お・も・て・な・し

今月は発掘現場のその後ということで、新原・奴山古墳群の現在の取り組みを紹介します。古墳群は、世界文化遺産候補に決定し、たくさんの方が集まるようになりました。それと同時に、散策路に轍などによる水たまりができるようになり、ぬかるみで歩きにくくなりました。来年、世界遺産に登録されるともっと多くの方が訪れます。ぬかるみをなくし歩きやすくなるよう今年度中に散策路を整備します。散策路沿いには古墳群の解説板やサインも設置します。解説板やサインは、形状や位置などが最良のものになるよう専門家の指導



▲ダンボール製の模擬解説板

を受け、ダンボールで試験的に作り、仮設置もしてみました。訪れる観光客に古墳群を知ってもらいたいからです。

問い合わせ 市教育総務課 ☎62・5093

消費生活相談

このコーナーでは、悪質商法や商品事故など実際に起きている、消費生活における問題事例を紹介しています。消費者被害は決して他人事ではありません。迷ったり、困ったりしたら、一人で悩まず、ぜひ相談してください。

積み立て解約時には手数料が必要!?

冠婚葬祭互助会に毎月積み立てをし、満期になったので解約を申し出たら、手数料として数万円を差し引くと言われました。勧誘時に説明はありませんでした。納得いきません。

契約時に内容をしっかり確認しましょう

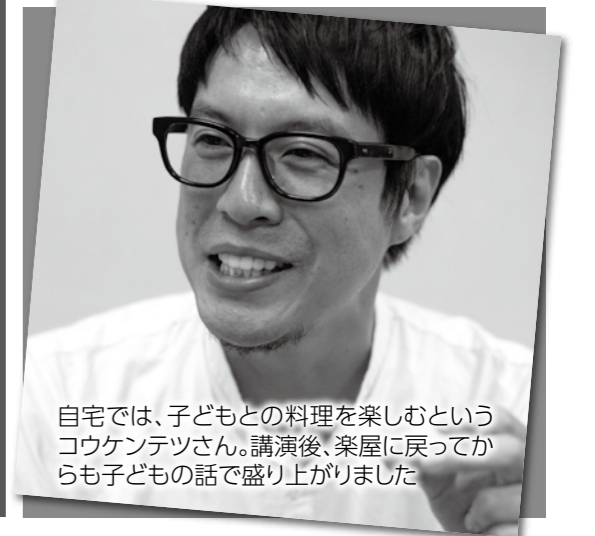
冠婚葬祭互助会の積み立ては、たまったお金を結婚式や葬儀の際のサービス費用の一部に充てて負担を軽くするためのものです。預金と違い利息は付きません。また、サービスを利用せずに解約する場合には、解約手数料が差し引かれますので注意が必要です。

契約する際は、結婚式や葬儀のサービスを利用するかどうかを、よく検討するとともに、契約内容をしっかりと確認しましょう。
※毎週月曜・水曜・金曜日(9:00~16:00)は市消費生活相談窓口 ☎43・8106で相談を受け付けています。
※県消費生活センター ☎092・632・0999でも随時相談を受け付けています。

問い合わせ 市地域振興課 ☎62・5014

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



自宅では、子どもとの料理を楽しむというコウケンテツさん。講演後、楽屋に戻ってからも子どもの話で盛り上がりました。

食へるこよひで育つくる幸せホルモン

「台所から生まれる料理と笑顔」と題して、市中央公民館でフォーラム「かがやけふくつ」の基調講演を開催しました。講師は料理研究家のコウケンテツさんです。
「人の寿命、人の健康は、食べた野菜の量に比例します」と話を切り出します。食材が持つ栄養素を図で示しながら、「せっかく野菜を食べるなら、野菜の持つ栄養素を効果的にとるために、旬の物を食べることも大切です。季節を意識した食材選びを心がけましょう」と続けます。そして「塩少々でゆでたブロッコリーを、

1日1食でいいから加えましょう」と市内でも多く生産されている農産物を話に出します。会場の人々はほしほしに話に引き込まれ、大きくうなずき、メモを取る人もでてきました。コウケンテツさんも皆さんと絶妙なリズムで会話のキャッチボールをしながら、更に食の話が続きます。「家族で食べる料理はなぜおいしいのか。それはみんなで食べるから。幸せホルモンの効果です。幸せホルモンというと、何だかどこかのホルモン屋さんのようですが違います。オキシトシンという脳内から出るホルモンのことです。おいしく感じて自然と笑顔になります」とユーモアを交えながらの話に、会場の皆さんは笑顔になっていました。
また、コウケンテツさんの子どもが生まれたときのエピソードや育児の話もありました。2歳にしてフライパンを振る我が子の写真をスクリーンに映し、「すごいでしょう、子どもはお父さんの姿を見て育つのです」と笑顔で力説。男性の育児と家事の参加率が出生率に関係することなどを話して、楽しい講演を終えました。
確かに日本は、男性が育児や家事に関わる時間が、出生率の高い国々よりも極端に少なく、このことは、少子化の一因だとも言われています。男性は今までの仕事偏重のライフスタイルを見直し、育児や家事へ積極的に参加することが求められているのです。出産や子育てをしやすくなるように、また、それを支える温かいまちになるように、市は今後も取り組みます。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

今月のイチオシ

図書館では一押しの本を集め、ロビーに特集コーナーを作っています。

特集テーマ
「追悼 2016」

永六輔、大橋巨泉、プリンス、デヴィッド・ボウイなど、今年亡くなった著名人の関連資料を展示しています。12月27日(火)まで。

「知的障害者施設の日」立松英子監修

起床仕事場の様子、入浴、支援員による夜間の見守りなど、施設1日の記録を通して知的障がい者への支援の在り方を学びます。

DVD 「八日目」ジャコブ・ヴァン・ドルマル監督

昼夜働くサラリーマンとダウン症の青年との交流を、ファンタジックな映像と音楽を駆使して感動的に描きます。

「ぼくのおにいちゃん」星川ひろ子・星川治雄著 小学館

重度知的障がいの長男が成長していく姿を、次男の目線を借りる形で紹介した写真絵本。母によるあとがきは必読です。

小学生向け 「ふしぎだね! 知的障害のおともだち」原仁監修 ミネルヴァ書房

知的障がいって何?なぜこうなるの?支援を必要とする子どもたちのケースを紹介し、その行動の理由と接し方の工夫について説明します。

「たったひとつのたからもの」加藤浩美著 文藝春秋

重度のダウン症で6年3か月の短い生涯を閉じた加藤秋雪さん。その一生を、レンズを通して見つけ続けた母の記録です。

「働く」の教科書 菊地一文監修 中央法規

仕事のやりがい、夢や目標は?特別支援学校を卒業した先輩が、働く楽しさを紹介します。知的・発達障がいのある人のハローワーク。

「知的障害の子どものできることを伸ばそう!」向後利昭監修

知的障がいのある子どもの特徴や能力の伸ばし方、手助けの方法、家族や周囲の人ができること、支援する社会制度などを紹介します。

「日本でいちばん温かい会社」大山泰弘著 WAVE出版

川崎のチョーク工場の経営者がいっしょに働く知的障がい者から教えてもらった大切なこと。人間の究極の幸せについて語ります。

一般書 「運命の一冊」

一冊の本が、ひよっとしたらあなたの人生を変えるかもしれません。紹介している本以外にも、約20万冊の本がある市立図書館に、運命の一冊を見つけにきませんか。

問い合わせ 市立図書館 ☎42・8000

図書館蔵書案内

運命の一冊

きつてステキな本に出会える……はず